

Kumamoto Mental Health Hospital "REFLE"

2024
Spring

春号

Vol.

78

りふれ



医療法人 再生会

くまもと心療病院

♥ 地域に開かれた病院を目指して…

理念

くまもと心療病院は、精神障害者と共に暮らす、より良き地域社会の実現に向けて、地域における精神保健・医療・福祉に奉仕します。

基本方針

- ① 患者様やご家族に満足していただくために、医療サービスの質の向上に取り組みます。
- ② 全職種が一体となり、チーム医療を実践します。
- ③ 患者様の人権を尊重し、人に優しい安全な医療を提供します。
- ④ 患者様の地域生活を支援します。

巻頭言

2024年 変化の春

医療法人再生会 くまもと心療病院 理事長・院長 荒木 邦生

院長室の窓から見える桜の木も、だいぶ花が散って葉桜になった。このところかなり雨が降ったこともあって、桜を見る時は短いとあらためて思った。お花見を計画しても、ちょうどその時満開にならないのが、桜の難しさだ。人生の満開が知らぬ間に通り過ぎるように。

日本人は桜にいるんな思いを寄せて眺める。3年前に新棟が出来上がった年に、まだ引っ越し前の建物の5階のテラスまで、桜の花びらが風で舞い上がって来たことを思い出す。これは新棟の完成を祝ってくれていると思って感動した。

2024年は心理的にコロナを脱して、病院の行事を通常に戻したい。また流行した時はその時考えるとして、とにかくいったんは心理的な束縛から解放されたい。ただ感染症の影響だけでなく様々の環境変化があったので、全く同じようにできるかは検討が必要だ。まず病棟新築による場所の変化、入院患者の高齢化、職員不足など様々な要因がある。夏祭りや文化祭のあの賑わいをもう一度、という気持ちもあるが、同じことを同じように続けるのは伝統芸能である。担い手がいなければ、また喜ぶ観客がいなければ伝統芸能も終わる。今いる人たちに誰が何をすることができるのか？が問われるべきである。

熊本も変化を迎えている。TSMCが完成しその周辺は人も増えて大変賑わっている。外国人の方も大勢見かけるようになった。病院があり患者さんや職員が多く生活している宇土市周辺も変わるべきである。すでに菊陽町や大津町はバブルになり、土地の値段は高騰して渋滞もひどいと聞いている。熊本市中心部から比較的近くて、アクセスの良い宇土市周辺は若い世帯の居住地として適していると私は思う。色々問題はあるかも知れないが宅地整備など条件が整えば、住みやすく便利なはずである。

医療は伝統芸能でも世襲でもない。環境が大きく変わっている現在においては、組織や人も変わるべきである。大事なことは本当に残すべきものは何か、変えるべきものは何かを見分けることだと思う。



りふれ 2024年 春号の表紙 …… 春爛漫

昨年、香川県にて単身で働いている息子を夫婦で訪ねていった際、連れて行ってくれた金毘羅山での撮影です。「春らんまん」を検索すると『春の花が咲き、光に満ち満ちた様子を表す表現として用いられる』とありました。1枚の写真ですがその時の幸せな気持ちが思い出されます。 (撮影者：濱永二三代)



第14回

笑いの伝播

「笑い」とは、“笑うこと、またその声、えみ”と広辞苑では説明されています。

私は、小さい頃から「よく笑う」「笑い声大きい」など、周りから言われることが多かったように思います。「ワハハ」「ゲラゲラ」「クスクス」日々笑えるということは、幸せなことだなあと、特にこの数年感じています。皆さんはどうでしょうか、笑えていますか？今回、「笑い」がもたらす効果を持論も交えながらお話しできたらと思います。

人は、笑顔を見ると、見ているこちらにも笑顔になることがありますよね。特に子供さんの笑っている顔や、笑い声を聞いただけで、こちらにも自然と笑顔になっています。これは、ミラーニューロン(ものまねニューロンとも呼ばれている)が、霊長類などの高等動物の脳内で、自ら行動する時と、他の個体が行動するのを見ている状態の、両方で活動電位を発生させる神経細胞。他の個体の行動を見て、まるで自身が同じ行動をとっているかのように「鏡」のような反応をすることから名づけられました。他人の心を理解する能力の元となっているとも言われています。

私は、くまもと心療病院に入職して26年になりますが、認知症の患者さまと関わる事が多く、認知症治療病棟に12年近く在籍しています。入院してこられる患者さまの多くは、ご自身の言葉で訴えることや、気持ちの表出がうまく出来ない患者さまです。失語の患者さまもいらっしゃいます。BPSD(認知症の周辺症状)を認める患者さまが入院されると、診察、薬剤調整も行われますが、BPSDの軽減には心地よい(快い)療養環境が最も重要な

役割を持つと考えています。

私は、患者さまとお話する時、満点の笑顔かどうかは分かりませんが、とても笑顔を意識しています(最近ではマスクで表情が読み取りにくいですが)。表情は伝播し、患者さまの表情も柔和になっていくのが分かります。患者さまは、お話しした内容や職員の名前は忘れても、その職員の笑っている顔や笑い声は何となく残っていると思うからです。

職員の笑顔を見て、患者さまも目尻が下がります。笑顔に似た表情をつくることで、脳の快感物質であるドーパミン系の神経活動が活性化されて、それが「楽しさ」の感情、笑った時に出るホルモン、エンドルフィンが分泌されると「幸福感」をもたらすことも分かっています。「笑顔」という表情変化から、「楽しい」「幸せ」という感情が続いた結果、「笑い」が最良の薬となり、BPSDも落ち着くことを願っています。

その他にも、笑顔はストレス解消、健康、美容に大きな効果があるとされています。

とても身体に良い影響ばかりの「笑い」、意識して笑うことはなかなか難しいと思います。笑える日々を送るコツは、自分のまわりの家族や友人、職場の仲間とたくさん話してみてください。ちょっとした失敗談も明るくおもしろく話すことで、自然と笑顔になっていると思います。その笑いをこれからも、周りの人に伝播していけたら良いなと思います。

～君が笑えば、みんなが笑う。みんなが笑えば、君も笑う。～

Profile

東2階病棟師長 柿本 実穂

Miho Kakimoto

経歴

平成 9年 くまもと心療病院 入職
平成29年 病棟師長就任
現在、認知症治療病棟(東2階病棟) 師長

資格等

- ・看護師
- ・日本精神科病院協会「上級コース(現シニアコース)」修了
- ・認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了



令和6年度入職式



令和6年4月1日(月)、新入職者 8名と、理事長、事務部長、看護部長、看護副部長に参列していただき、医療法人再生会令和6年度入職式が執り行われました。

今年度は、新卒の2名の方と即戦力の6名の方が入職されることとなりました。

理事長挨拶の後、新入職員の代表挨拶を東4階病棟に入職される谷川 珠琉さん(看護師) が述べられました。これからの再生会を担う新しい力をお迎え出来て、大変喜ばしい気持ちになりました。

● 新人オリエンテーション

2024年度の新人オリエンテーションは4月2日(火)～4月3日(水)の2日間、プログラムに「一次救命処置(BLSプロバイダー3名による演習指導)」と「精神科の歴史とこれから」と「多職種と協働するための姿勢・心構え」についての講義を加えて、2023年度中途採用職員と4月1日新入職員が参加して開催されました。院長や事務部長・看護部長、各部署や委員会からくまもと心療病院職員としての基本を学びました。



くまもと心療病院
2024年 春
行事食のご紹介



春分の日

さくら海老と枝豆入りの春限定の『かき揚げ』を中心に、ほうれん草と卵の『菜の花和え』や桜の形のお豆腐しんじょうの『お吸い物』に春の『ぼた餅』を準備しました。



お花見弁当

お稲荷さんに春らしいデコレーションを行い、煮物には筍やふきといった春野菜、唐揚げやチーズちくわ、かにシュウマイ、桜餅などボリューム満点の春らしいお弁当が出来ました。



オレンジナースによる「認知症対応力向上研修」

この研修は、厚生労働省通知の認知症地域医療支援事業を実施する研修のひとつで、くまもと心療病院では定期的に開催しています。オレンジナースとは、認知症対応推進看護師のことで、同事業の養成研修を修了した看護師です。当院には病棟のみならず訪問看護や関連施設にもオレンジナースがおり、日々の業務にあたっています。

今回は、認知症治療病棟（東2階病棟）看護師の宮崎 あゆみさんと、精神科急性期治療病棟看護師の伊藤 多美子さんが講師を務め、看護師や調理師、精神保健福祉士、公認心理師など多職種へ向けて、研修会が開催されました。

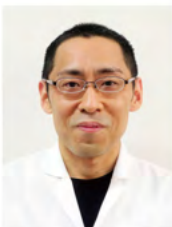
研修では、まず認知症の方の目線に立ち、状況がつかめない中で看護される不安感や恐怖感について考えます。患者様の立場に立って考えることで必要とされる対応力とは何かが見えてきます。例えば、認知症であっても感情は保たれているので、失敗体験にもなって自尊心が傷つくことがあります。我々病院スタッフは、忘れてしまったことを指摘したり、排泄の失敗を責めたりせず、その方が抱える心理的な苦悩に配慮した支援を行うことが必要です。こうした感情に配慮した心地よいケアやコミュニケーションは、BPSD（認知症の行動・心理症状）の改善にもつながります。



これからも病院全体として認知症に関する知識を深め、患者様に接する技術を習得し、適切な医療を提供してゆけるように取り組んでいきます。



新任のご挨拶



精神科医師 山口 祐介

今年度から常勤医師として勤務することになりました。熊本大学病院、菊池病院、国立熊本医療センター、くまもと青明病院と毎年異動があり、今年で精神科医五年目になります。医学部に入る前は、農学部の大学院でお米とジャンボタニシの研究をしていましたが、修士課程で思うような成果が得られず、一念発起し再受験を決意しました。趣味は将棋で去年始めたばかりですが、アマチュア初段になって憧れの藤井聡太八冠直筆の免状をもらうことが目標です。早くどこかに腰を据えたいと思いつつも、来年度は大学病院に戻ることがすでに決まっています。今年一年限定ではありますが、少しでも当院に貢献できればと思います。何卒よろしくご挨拶申し上げます。



認知症対応型共同生活事業 めくもり 施設長 柴田 忍

令和6年4月より認知症対応型共同生活事業めくもりの施設長を務めさせていただくことになりました。施設長への就任、不安や重圧もたくさんありますが、これまでの経験を活かしながら、入居者様が今までと変わらず穏やかに自分らしく過ごすことができ、ご家族にも安心して頂けるようスタッフと共に頑張っていきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻受け賜りますよう宜しくお願い致します。

精神保健指定医

Designated Physicians of Mental Health

精神科の病院には、「精神保健指定医」という資格をもった医師がいます。

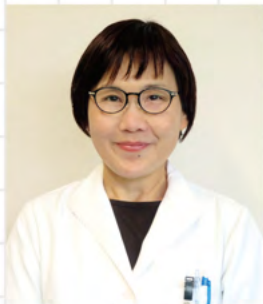
精神科医療においては、本人の意思によらない入院や、一定の行動制限を行うことがあります。例えば、認知症があつて入院の必要性をご本人が理解できないことや、精神疾患のために食べ物でないものを口にしたりすることがあります。そういった場合の入院や、行動を制限させていただく際には、患者の人権にも十分に配慮した医療を行うことが求められます。

「精神保健指定医」は、一定の精神科実務経験を有し、法律等に関する研修を終了した医師のうちから、厚生労働大臣が指定し、これらの業務を行わせることとしたものです。

精神保健指定医は、

1. 5年以上診断または治療に従事した経験を有すること。
2. 3年以上精神障害の診断または治療に従事した経験を有すること。
3. 厚生労働大臣が定める精神障害につき厚生労働大臣が定める程度の診断または治療に従事した経験を有すること。
4. 厚生労働大臣の登録を受けたものが、厚生労働省令で定める所により行う研修の課程を修了していること。

という定めがあります。くまもと心療病院には10名の精神保健指定医がおり、日々の診療にあたっています。



工藤 祐美 副院長

精神保健指定医は、患者様の病状悪化時に行動を制限したり入院を指示することができますが、それが本当に必要な行動制限や入院なのか、正しい判断をすることが重要です。常に、患者様の人権を第一に考え、必要のない行動制限や入院が続かないように心がけています。

ボイス Voice 臨床研修医

熊本中央病院研修医 犬童 遼太

1月末から4週間研修させていただきました熊本中央病院研修医の犬童です。この度は精神科研修として、病棟業務、外来、デイケアでの活動などを経験させていただきました。これまで回った他の診療科とは雰囲気が大きく異なっており、よりコミュニケーションを重視した診療を行っていたことが印象的でした。私は将来、高齢者の割合が多い地域にある実家の診療所を継ぐことも考えていますので、今回の研修は非常に貴重な経験になったと考えております。今後も何らかの形でのお世話になることもあるかと思いますが、その時は何卒よろしくお願ひいたします。短い期間でしたが大変お世話になりました。

《くまもと心療病院研修期間：2024年1月29日～2月22日》





熊本県基幹型認知症疾患医療センターであった熊本大学病院が2024年3月をもってセンター終了となりました。第76回まで事例検討会が定期的開催され、熊本県内の認知症の診断技術の向上や関わる専門職の知識、対応技術の向上、認知症を抱えるご本人とご家族への配慮など多職種が学ぶ場でもありました。新年度から当院が業務を受け継ぐ事になりました。微力ながらも、皆さんの不安がないように精進してまいります。

(認知症疾患医療センター 榎田・廣川)

お知らせ コーナー

■ 広報誌「りふれ」をホームページに掲載します！

2024年1月新春号より、この広報誌「りふれ」が当院のホームページから閲覧できるようになりました。右のQRコードを読み取っていただくか、下記URLにアクセスしてご覧ください。

https://k-shinryou.jp/kouhoushi_refle/



■ 第2回 家族教室開催

昨年7月に第1回目を開催し、令和6年2月10日(土)に2回目の家族教室を開催いたしました。今回は「認知症の方への接し方」というテーマで、認知症疾患医療センター主任の廣川陽子看護師がお話をされました。



■ 交通安全教室

2024年3月13日、当院体育館にてソレイユ、デイケア・デイナイトケアソシエの利用者60名に交通安全教室が行われ、宇城地区交通安全教育講習員2名に交通事故の事例や事故防止対策などを紹介していただきました。自転車でもあおり運転禁止（急な車線変更、幅寄せ、逆走、不必要なブレーキ、頻回なベル）、飲酒運転禁止、正しい横断方法を周知し、みんなで事故防止を図っていきたいと思います。



編集後記

コロナ禍で中止になっていた春の行事を再開されている施設も多いのではないのでしょうか。3月は寒の戻りがあり、予想より少し遅れての桜の開花みたいでしたが、満開の桜を楽しむことはできましたでしょうか。医療・施設関係では感染対策に苦労は絶えませんが、大変なことは少し横に置いて、たまには外に出て色とりどりの花や鳥のさえずりなど季節を感じてみませんか。

(看護管理室 濱永 二三代)



関連施設

医療法人 再生会

- 地域拠点型認知症疾患医療センター ☎0964-22-1106
- すみれ訪問看護ステーション ☎0964-22-0402
- 認知症高齢者グループホーム「ぬくもり」 ☎0964-22-1118
- 小規模多機能型居宅介護「ぬくもり」 ☎0964-22-7277
- うきうき地域生活支援センター ☎0964-22-2510
- 自立訓練(生活訓練)事業所「ソレイユ」 ☎0964-22-5366
- 障がい者共同生活援助グループホーム「まつやま」 ☎0964-22-5501



外来診察

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	休 診
午後	○	○	○	○	○	休 診

診察	月～金曜日	午前の部	9:00～12:30
		午後の部	14:00～17:00

◆休診日：土曜日・日曜日・祝日

お盆休み(8月15日)・年末年始12月30日～1月3日

※ 診察券は、受診時に必ずお持ちください。(診察券は大切に保管してください)

※ 毎月最初の受診日には保険証を提示してください。

※ 診察はすべて予約が必要です。事前にご連絡ください。但し、急患はこの限りではありません。



交通のご案内

- JR鹿児島線・三角線 「宇土駅」下車
→バス(約20分) →タクシー(約10分)
- JR鹿児島線 「松橋駅」下車
→タクシー(約5分)
- 産交バス熊本方面から八代・松橋行
→「松山」下車 (徒歩1分)
- 産交バス松橋方面から熊本行
→「松山」下車 (徒歩1分)
- 松原交差点から八代方面へ車で約5分

